





放火されない環境づくりを

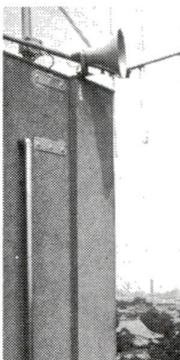


最近、都内の火災件数は、全般的に減少の傾向にありま  
す。ところが、放火(放火の疑  
いを含む)による出火件数は  
増加し続け、昨年、東京消防  
庁管内では、6千弱件の火災  
のうち、放火によるものが30  
%(千七件)を占め、今年  
も同水準で推移しています。  
特に足立区では、7月10日  
現在で41%前後に達して  
おります。

このため、放火を防ぐ(放  
火されない環境づくり)を区  
民一体となって推進する必要  
があります。次のようなこと  
を心がけましょう。

- 1、家のまわりは整理整頓し、  
西新井各消防署へ、

防災無線



災害のとき 正しい情報を提供します

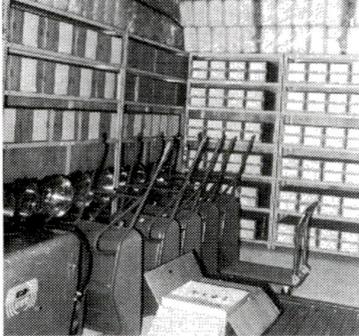
区では、区民の皆さんの情  
報を提供するのが目的です  
命・財産を守るため、災害時  
に正しい情報が提供できるよ  
う防災無線網を設けしていま  
す。そこで現在、青少年非行  
防止を兼ねた定時放送(夕や  
け)を、を平日1回放送し  
ています。もし聴いえなかつ  
たためにも、区内全域まわ  
り(連続)を、今後とも送ら  
せていただきます。今後は  
受信できるように調整を重  
ねてまいります。

貸し出します 16ミリ防災映画



地域の防災活動啓蒙のため  
に、町会、自治会、その他の  
防災機関を対象に、左記の映  
画、おまけ映写機、スクリー  
ンを貸し出しています。

- ▼地震と東京(119話)
- ▼マグニチュード7.9
- ▼災害に備えて
- ▼ルーマニア地震
- ▼揺れる時—宮城県沖地震—
- ▼東海地震と警戒宣言—その  
時東京は—
- ▼関東大震災の  
記録—東京消失(縮小版)
- ▼アニマ—動物村の地震用心  
・火の用心—
- ▼わが町、わ  
が家、わがいのち—強めよう  
防災市民組織—
- ▼地震(家  
庭編)
- ▼地震(都庁編)
- ▼大地震にそなえて—わが家  
の対策—
- ▼大地震・マグニ  
チュード7の証言
- ▼私達の防  
災—職場編—
- ▼わたくしは、災害対策係  
へ。



備蓄倉庫

**非常・災害に備え 食糧・飲料水を確保**

水として指定し、そのうち26  
区には非常用貯水機を昭和59  
年度に設置しました。  
多くの区民が被災した場合に  
備えて、非常用備蓄倉庫を現  
在までに6カ所建設していま  
す。

▼災害用備蓄倉庫  
備蓄倉庫には、災害時の生  
活を確保するための食糧(乾  
パン)や生活必需品などを数多  
くものを備蓄しています。  
1日に人間が必要とする水  
はおよそ3リットルといわれ  
ています。区では、災害時の  
飲料水を確保するため区立小  
中学校のプールを非常用飲料  
水として活用しています。

また、ここには水さえあ  
れば浄化して飲料水になり、500  
ccの袋詰めして出せる、非常  
用連続ハック式飲料水給水分  
配装置が用意されています。

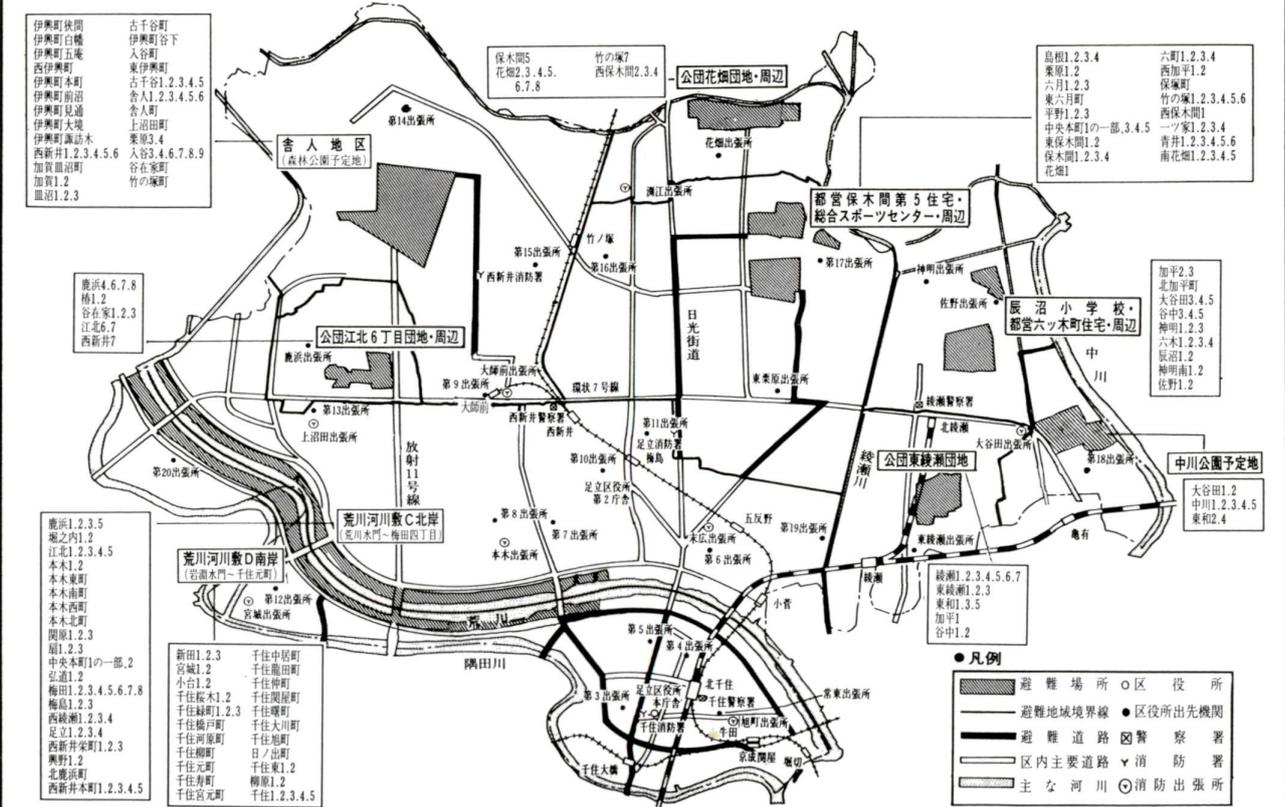
これは、毎分50個の袋詰め  
の飲料水が製造されるので、  
短時間で水を公平に分配で  
きます。

**備えあれば…非常時持出品**

水、食糧は少なくとも3日分(水は1日  
1人3ℓ)用意しましょう。

下着類、手袋、ナイフ、缶切り、セッケン、タオル、ちり紙、ローソク、マッチ、懐中電灯、懐中時計、現金、家族3日分の食料、飲料、懐中電灯、懐中時計、懐中電灯、懐中時計

大地震時の避難場所案内図



◎防災についての問い合わせは、災害対策課へ ☎882-1111(代)